

たまごやきが作れたよ

御油小・2 もりた かいと

ぼくは、お母さんが作ったたまごやきがすきです。

夏休み、キッチンからジュージューという音が聞こえてきたので行って見たら、ちょうどぼくのすきなたまごやきを作りはじめていたところでした。お母さんが、

「作ってみる？」

と言ってくれたので、お母さんにたまごやきの作り方を教えてもらうことにしました。

まず、たまごをパリッ、パッカーンとわりました。そして、さとうをさらさら入れて、しょうゆをぽとぽと入れました。それを、はしでぐるぐるかきまぜました。つぎに、たまごやき用のフライパンにあぶらをひいて、たまごのえきをながしたら、ジュージューという音がしました。たまごのえきが、さいしよはとろとろだったのに、三十びょうくらいでかたまりました。一分くらいかかると思っていたので、思っていたより早くやけてびっくりしました。

フライパンを手でもちながら、フライがえしで少しずつたまごをひっくりかえました。やけどをしそうでごわかったです。こわかったけど、お母さんといっしょにやったので、やけどせずにできました。

そして、はじめて自分で作ったたまごやきがかんせいしました。とてもおいしいそうにできて、早く食べたくまりました。家ぞくみんな

で食べました。できたてのたまごやきはふわふわでとてもおいしかったです。

つぎの日の朝、自分からお母さんに、

「たまごやきを作りたい。」

と言ったら、お母さんが、

「いいよ。がんばって作ってね。」

と言ってくれたので、よし、がんばって作るぞと気合いが入りました。お母さんがちよつと手つだつてくれたけど、きのうよりたくさん自分でやりました。きのう、お母さんに教えてもらったように作ったけど、とちゅうでしょうゆを入れすぎてしまったので、たまごのえきがちよつと茶色になってしまいました。ああ、ぜったいになんかうまくやれなかったと思いました。

どきどきしながら、お父さんとお母さんに食べてもらいました。

そしたら、

「おいしい。」

「また作ってほしいな。」

と言ってもらいました。とてもうれしかったです。ぼくも、食べてみたら、きのう作ったたまごやきよりも、しょうゆのあじがしっかりしていたので、おいしかったです。自分で作ったたまごやきは大きいこうでした。

ぼくは、今までにフルーツポンチやパンケーキなどのおかしは作ったことがあったけど、りょう理はあまりやることがありませんでした。夏休みに、はじめてたまごやきを作ってみたらとても楽しかったです。これからは、のりを入れたたまごやきや、水を少し入れたふわふわのたまごやきなど、ぼくのすきないろいろなあじのた

まごやきを作ってみたいです。また、たまごやきのほかにも、ぼくのすきなシチューやカレーライス、コンンスープなどのりよう理を作って、家ぞくみんなに、

「おいしい。」

と言ってもらいたいです。

作る前までは、ぼくにはたまごやきは作り方がむずかしいからできな思っていました。でも、チャレンジしてみたらじっけんみたいでおもしろくて、作り方をおぼえることができました。作り方は思ったよりもかんたんでした。チャレンジしてよかったです。

ぼくは、二学きから、スイミングスクールで、とびこみのレッスンがあります。夏休みに作ったたまごやきみたいに、まずはチャレンジすることが大切だと分かりました。できるようにするのは楽しいので、これからもがんばってチャレンジしたいです。